

Re:ing/SUM

「子供の貧困問題解消に向けて地域金融機関が出来る7つのこと【前半】」

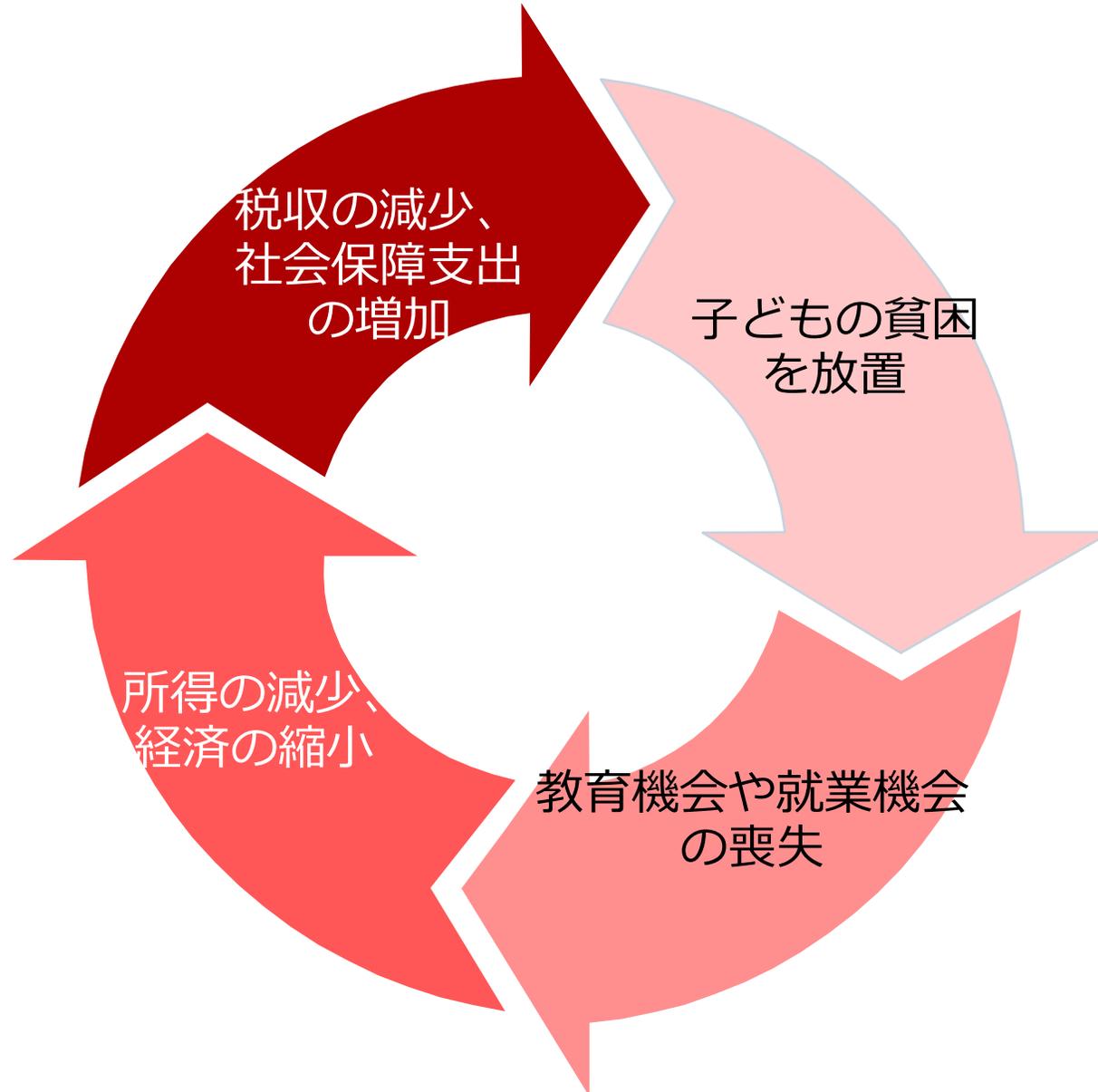
子どもの貧困のマクロ的影響と コロナ禍の状況

小林 庸平 (y.kobayashi@murc.jp)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 経済政策部 主任研究員

子どもの貧困がもたらすマクロ的影響 －社会的損失の推計

子どもの貧困を放置した場合の社会的損失とは？



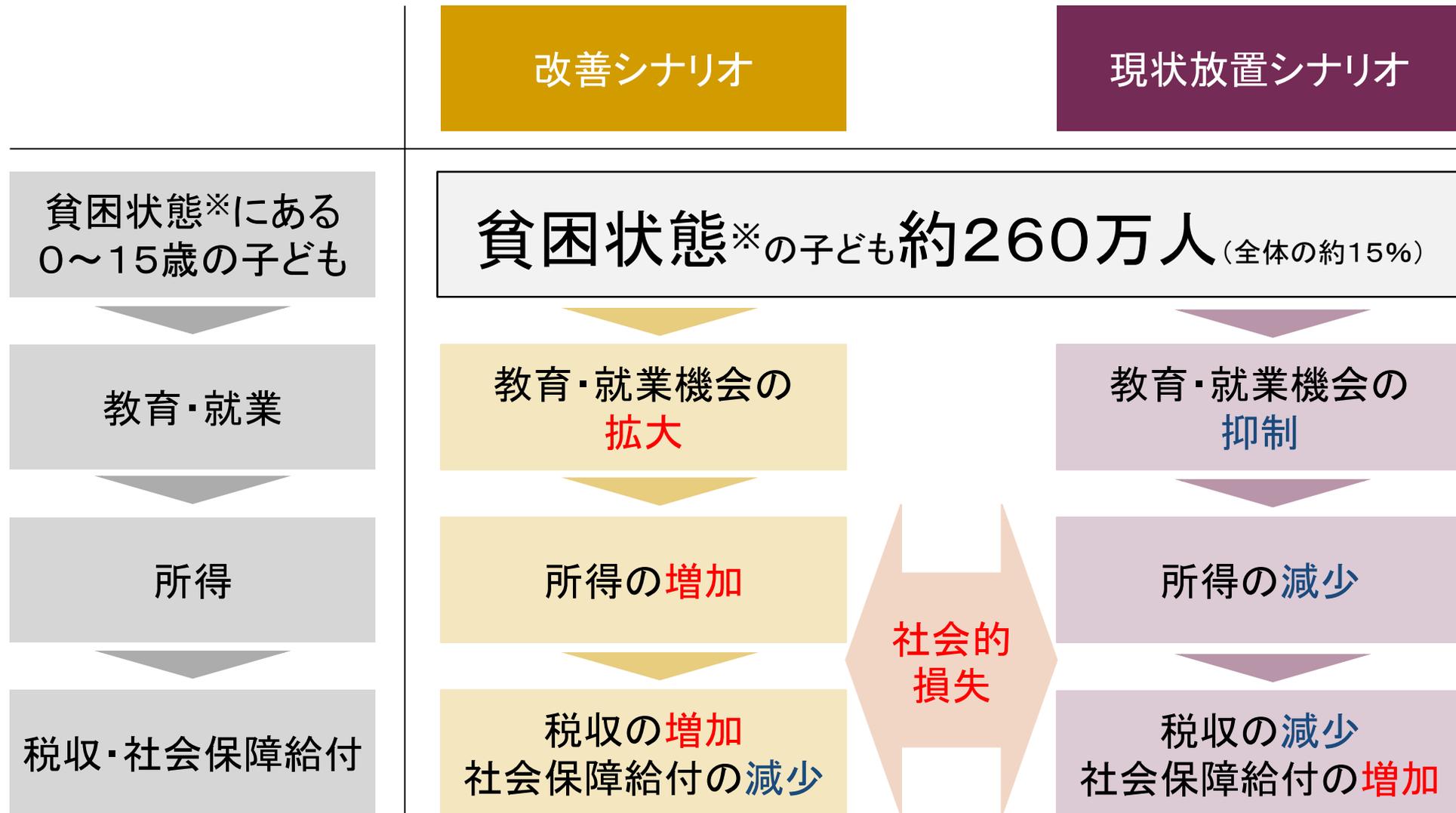
経済状況別に見た進学率や中退率

経済状況別にみた子どもの進学率・中退率

	全世帯	貧困世帯		
		生活保護世帯	児童養護施設	ひとり親家庭
高等学校等進学率	98.8%	94.0%	96.2%	95.9%
高等学校中退率	1.3%	4.1%	-	-
高等学校卒業後進学率	83.5%	37.3%	33.0%	58.5%

(出所) 内閣府「令和2年度子供の貧困の状況と子供の貧困対策の実施の状況」、文部科学省「学校基本調査」

社会的損失推計の考え方



(※) 生活保護世帯、児童養護施設、およびひとり親家庭の子ども

子どもの貧困の社会的損失

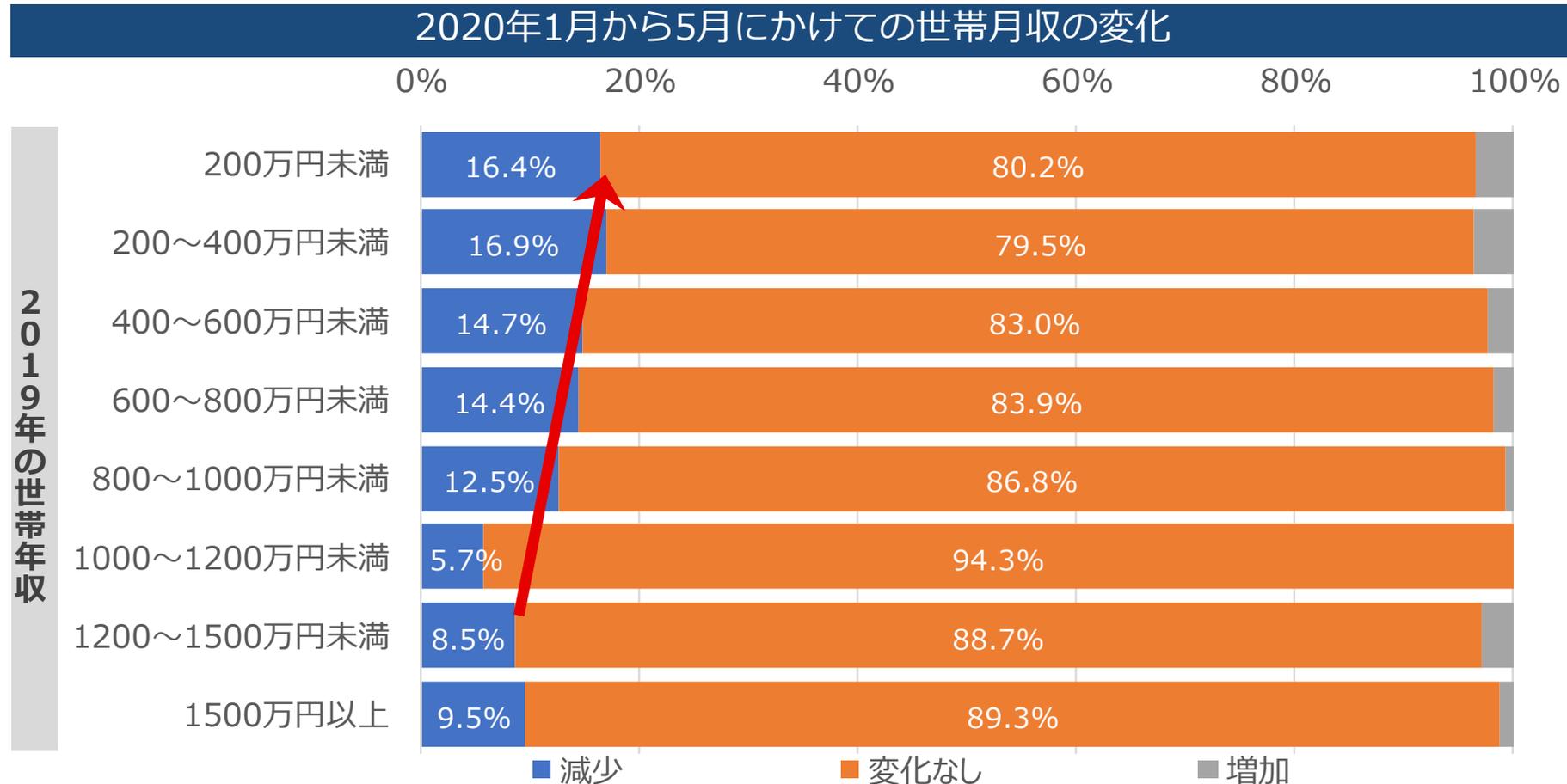
	所得	税・社会保障 の財政収入	貧困状態の子ども一人当たり生涯	
			所得	財政収入
改善 シナリオ	374.4兆円	99.9兆円	1億4200万円	3800万円
現状放置 シナリオ	331.5兆円	83.9兆円	1億2570万円	3200万円
社会的 損失	-42.9兆円	-15.9兆円	-1630万円	-600万円

(出所) 拙著『子供の貧困が日本を滅ぼす』文春新書

コロナ禍と子どもの貧困

新型コロナ拡大による所得への影響

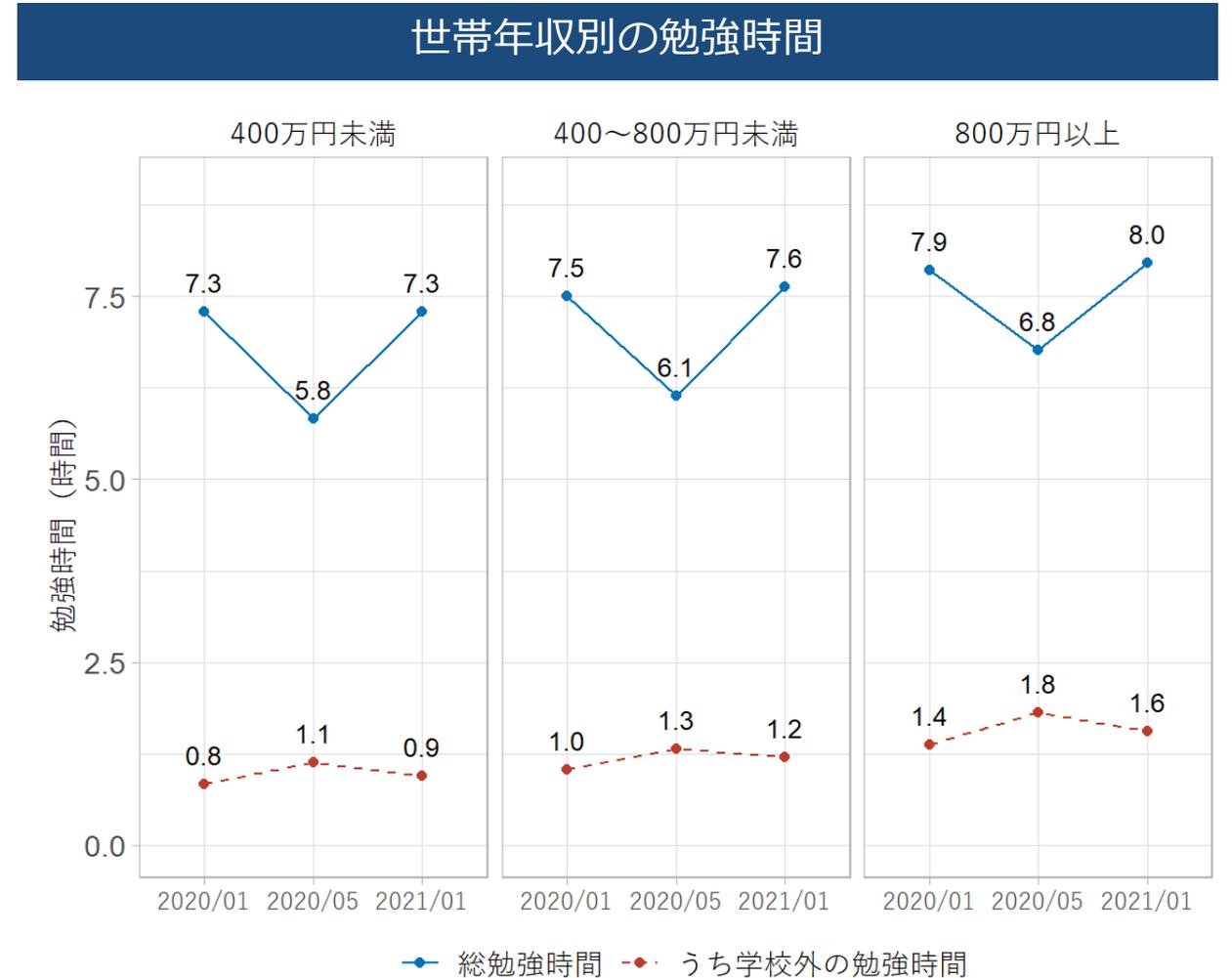
- 新型コロナの拡大は、もともと低所得だった世帯の所得を減少させている。



(出所) 小林他 (2020) 「新型コロナウイルス感染症によって拡大する教育格差 —独自アンケートを用いた雇用・所得と臨時休校の影響分析」 『MURC政策研究レポート』

勉強時間の変化

- コロナ前後における勉強時間の変化を世帯年収別にみると、いずれの世帯年収別区分でも2020年5月には総勉強時間が減少。
- 高所得世帯は、低所得世帯に比べて、臨時休校期間の総勉強時間の減少幅が小さい。臨時休校終了後も学校外での勉強時間が高止まり傾向。



(出所) 日本財団・三菱UFJリサーチ&コンサルティング (2021) 「コロナ禍が教育格差にもたらす影響調査」
(注) 「年収400万円未満」(n=487、「400~800万円未満」(n=1271、「800万円以上」(n=1000。なお、小学1年生、中学1年生、高校1年生は時系列的な連続性を確保できないため集計から除外している。また、睡眠時間やその他の生活時間等が0時間のデータも集計から除外している。

生活習慣の変化

- 所得の低い世帯の子どもや1人親世帯の子どもほど、コロナ禍で起床・就寝時刻や食生活といった生活習慣が悪化する傾向。

